

保健体育科（体育）学習指導案

日時	令和4年6月15日（水）第3時限	指導者	堀内 秀嗣		
学級	理数科・普通科 3年 3・4組	教室	体育館		
単元	球技（バレーボール）	教科書	改訂版 現代高等保健体育（大修館）		
指導目標	1 状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防を展開させる。 2 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫させ、考えたことを他者に伝えさせる。	指導計画	1 オリエンテーション・・・・・・・・・・1時間 2 基本的技能の習得・・・・・・・・・・5時間 3 発展的技能の習得・・・・・・・・・・7時間 （本時はその3時間目） 4 審判法・・・・・・・・・・3時間		
本時の指導過程	主題	三段攻撃を成立させ、質の高いゲームを展開する。			
	本時の目標	1 サーブレシーブの成功率を高め、三段攻撃を成立させる。 2 ゲーム内容を分析し、成果や課題を発見し、他者に伝える。			
	課題	6人制バレーボールのルールやポジションによる役割を確認しておく。			
	学習活動	時間	留意事項など(ALの視点を含む)	評価基準・方法、資料等	
	導入	1 出欠・健康観察を行う。		・健康状態を把握させる。	・バレーボール ・生徒用端末
		2 本時の目標を確認する。		・本時の目標を理解させる。	
		3 準備運動を行う。		・活動内容に応じた準備運動を行わせる。	
	展開	1 基本練習を行う。 (1) キャッチボール (2) パス		・基本的なボール操作やフォームを確認させる。	【評価基準】 A 仲間の次のプレーを意識した丁寧なボール操作を行っている。 B 自己の能力に応じた丁寧なボール操作を行っている。 C 自己の能力に応じたボール操作ができない。 【評価方法】 ○行動観察 ○動画
		2 三段攻撃の練習を行う。 (1) サーブレシーブ (2) トス、スパイク		・自己のフォームや、ボールの軌道を確認させる。 ・セッターが受けやすい所に丁寧にコントロールさせる。 ・互いのプレーを称え合い、カバーやフォローの気持ちを大切にさせる。	
		どのような軌道のパスなら安定して次のプレーが行えるか。			
導開	3 ゲームを行う。 (1) ゲーム (2) 分析		・三段攻撃の成立を目指し、仲間と協力して活動させる。 ・分析結果を基に、チームの課題を話し合わせる。	【評価基準】 A データを基に課題や成果を見つけ、仲間に伝えている。 B データ分析に積極的に取り組んでいる。 C データ分析に積極的に取り組んでいない。 【評価方法】 ○行動観察 ○分析結果	
	三段攻撃の成立に欠かせない技術は何か。				
整理	1 整理運動と健康観察を行う。		・健康状態を確認する。		
	2 本時のまとめと次時の学習内容を確認する。		・ゲーム分析の結果を踏まえ、次時の課題を予告する。		
備考	生徒数 25名				